

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(30歳代女性)あり、本年の累積報告数は7例となっています。発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(10歳未満女性1例)あり、本年の累積報告数は44例となっています。
- 梅毒の報告が2例(20歳代男性1例, 20歳代女性1例)あり、本市の累積報告数は36例となりました。重症化及び感染拡大を防ぐためには、早期発見, 早期治療が非常に重要です。
京都市では、平日昼間, 土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変更しました。)」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>
- 手足口病の定点当たり報告数は4.86(204例)となり、前週の6.36(267例)から減少しましたが、引き続き注意が必要です。手洗いなどの予防策をしっかりとってください。

◆ 今週のトピックス: < 腸管出血性大腸菌感染症 >

- 京都市の腸管出血性大腸菌感染症の報告は前週の2例に続き、第30週も1例の報告があり、年間累積報告数が7例となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類: 結核 5例(肺結核 3例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 201例(肺結核 102例, その他結核 30例, 潜在性結核感染者 69例)うち喀痰塗抹陽性 53例】
- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 7例】
- 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 44例】
- 五類: 梅毒 2例【1月以降の累積報告数 36例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

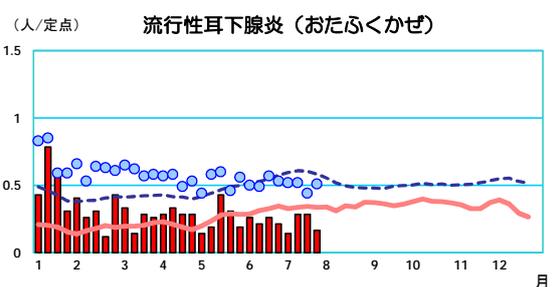
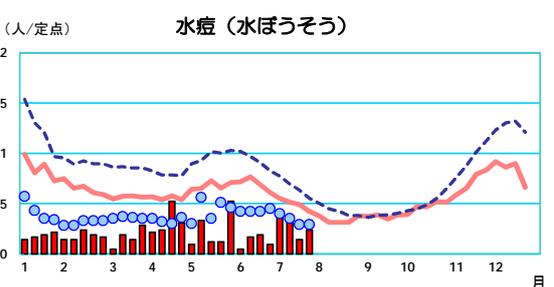
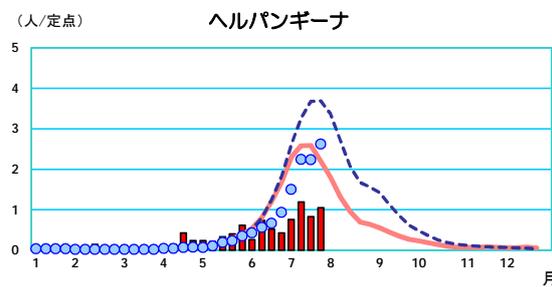
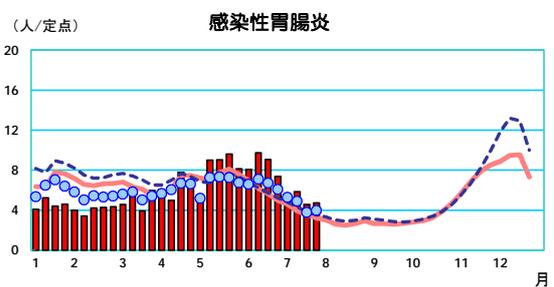
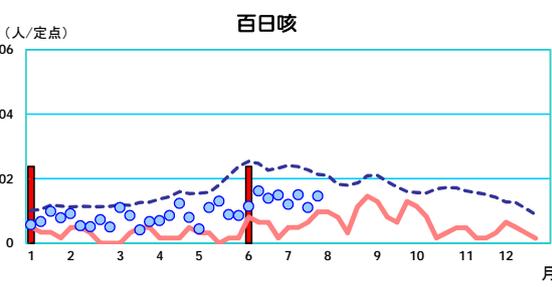
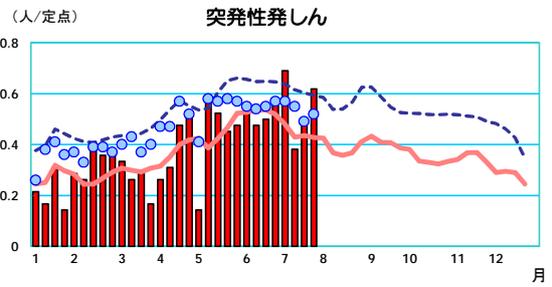
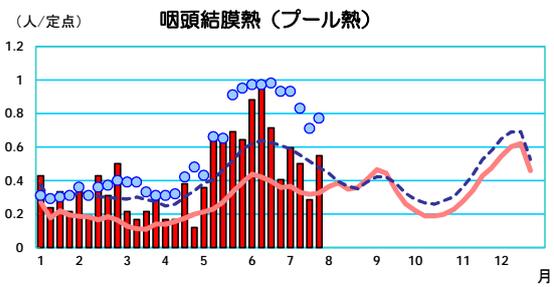
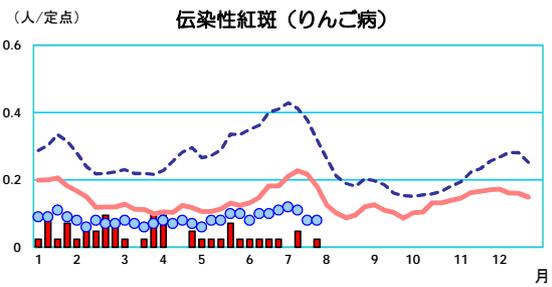
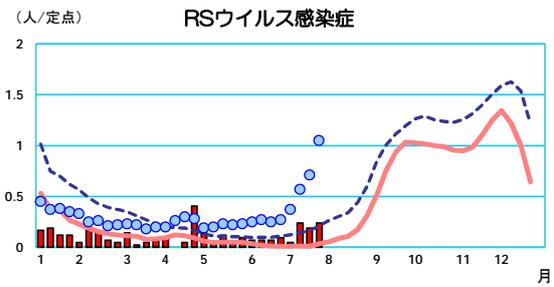
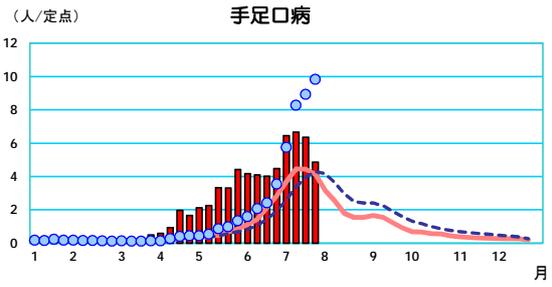
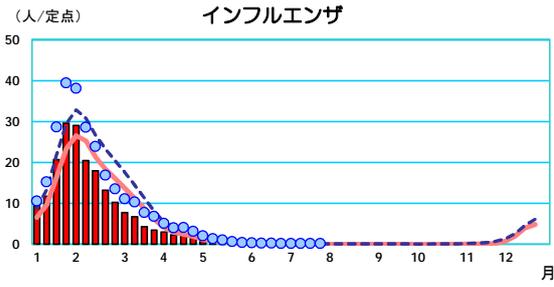
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.07	5
小児科 (降順5位まで)	① 手足口病	4.86	204
	② 感染性胃腸炎	4.71	198
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.31	55
	④ ヘルパンギーナ	1.05	44
	⑤ 突発性発しん	0.62	26
眼科	流行性角結膜炎	0.80	8

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: < 腸管出血性大腸菌感染症 >
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成29年8月2日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



第30週(7月24日～7月30日)トピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

京都市の腸管出血性大腸菌感染症の報告は前週の2例に続き、第30週も1例の報告があり、年間累積報告数が7例となりました(図1)。過去5年と比較すると最も少なくなっていますが(図2)、直近3週で4例の報告が続きました。全国においては今週報告数が急増しました。本感染症は夏から秋にかけて感染することが多く、まもなくピークを迎えるものと思われます。今後の発生動向に注意が必要です。

この感染症の症状は、3～5日の潜伏期間のあと、激しい腹痛、水様性下痢及び血便を特徴とします。原因となる腸管出血性大腸菌には約180種類の血清型が存在しますが、なかでもO157に感染すると一般的に症状が重く、特に乳幼児や高齢者が発症すると溶血性尿毒症症候群(HUS)という重篤な合併症を起こすことがあります。京都市では、平成24年から報告の中で、O157が大部分を占め、平均すると約75%を占めています(図3)。本年も同様の傾向となっており、以下の感染予防に心がけてください。

感染経路については、飲食物を介する経口感染の割合が高く、感染を予防するには、食中毒予防の基本(菌やウイルスをつけない、増やさない、やっつける)を守ることが重要であり、特に食肉等の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いが有効です。

「食中毒予防」や「手洗いの方法」を下記URLで紹介していますので御活用ください。

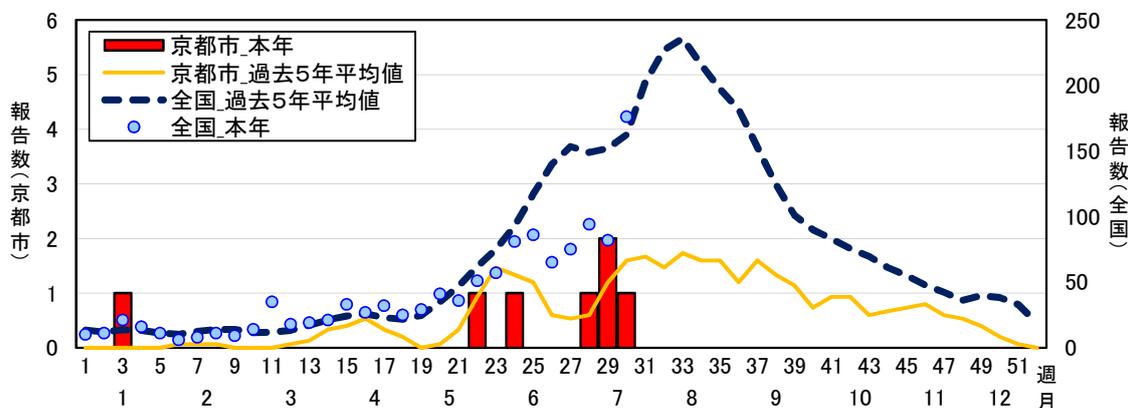
○「食中毒を防ぐ3つの原則・6つのポイント」(政府広報オンライン)

http://www.gov-online.go.jp/featured/201106_02/

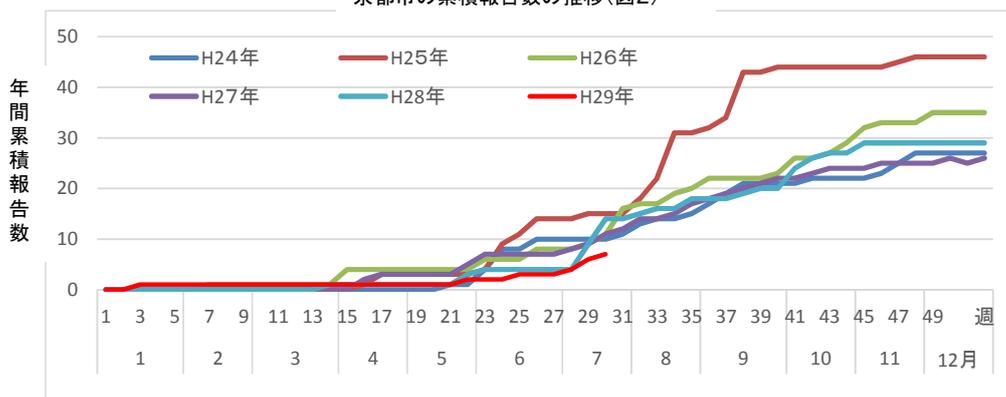
○「手洗いの方法」(衛生環境研究所ホームページ)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/tearai.pdf>

京都市及び全国の報告数の推移(図1)



京都市の累積報告数の推移(図2)



京都市の平成24年～平成29年30週のO血清型別報告数(図3)



T3201

疾病,行政区別報告数

集計対象:平成29年30週

京都市感染症発生動向調査情報

平成29年7月24日～平成29年7月30日

データ入手日:平成29年8月2日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎 A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計	-	-	1	2	3	-	3	-	-	-	-	1	-	1						
北	-	-	1	2	3	-	3	-	-	-	-	1	-	1						
上京	-	-	-	1	6	-	14	-	-	-	3	-	-	1						
左京	-	2	-	8	45	2	18	-	2	-	2	1	-	1						
中京	-	-	1	1	8	-	8	-	2	-	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-
東山	-	1	-	1	10	-	2	-	-	-	6	-	-							
山科	-	-	2	6	1	5	13	-	4	-	2	-	-	1						
下京	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-							
南	4	-	3	3	3	-	15	-	4	-	7	2								
右京	-	7	10	16	29	1	60	-	2	-	11	1	1	3						
伏見	-	-	5	11	62	1	50	1	10	-	7	-	-	-						
西京	1	-	1	6	30	1	21	-	1	-	3	2	-	-						
京都市計	5	10	23	55	198	10	204	1	26	-	44	7	1	8	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎 A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計	-	-	0.25	0.50	0.75	-	0.75	-	-	-	-	0.25	-	1.00						
北	-	-	-	0.33	2.00	-	4.67	-	-	-	1.00	-	-	1.00						
上京	-	0.50	-	2.00	11.25	0.50	4.50	-	0.50	-	0.50	0.25	-	1.00						
左京	-	-	0.33	0.33	2.67	-	2.67	-	0.67	-	1.00	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-
中京	-	0.50	-	0.50	5.00	-	1.00	-	-	-	3.00	-	-							
東山	-	-	0.50	1.50	0.25	1.25	3.25	-	1.00	-	0.50	-	-	1.00						
山科	-	-	-	-	0.50	-	-	-	0.50	-	-	-	-							
下京	-	-	-	-	0.50	-	-	-	0.50	-	-	-	-							
南	0.80	-	1.00	1.00	1.00	-	5.00	-	1.33	-	2.33	0.67								
右京	-	1.40	2.00	3.20	5.80	0.20	12.00	-	0.40	-	2.20	0.20	1.00	3.00						
伏見	-	-	0.71	1.57	8.86	0.14	7.14	0.14	1.43	-	1.00	-	-	-						
西京	0.13	-	0.20	1.20	6.00	0.20	4.20	-	0.20	-	0.60	0.40	-	-						
京都市計	0.07	0.24	0.55	1.31	4.71	0.24	4.86	0.02	0.62	-	1.05	0.17	0.10	0.80	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除く。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

年齢階級, 疾病別報告数

集計対象: 平成29年30週

平成29年7月24日～平成29年7月30日

データ入手日: 平成29年8月2日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	5	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
RSウイルス感染症		10	1	-	6	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		23	-	2	10	4	2	1	2	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		55	-	-	4	3	6	3	5	8	3	5	3	8	1	6	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		198	4	18	41	15	15	19	17	10	8	3	4	13	8	23	-	-	-	-	-	-	-
水痘		10	1	-	-	-	2	2	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	204	4	32	63	43	22	14	15	2	4	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		26	-	12	12	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		44	-	2	15	11	5	4	1	1	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		7	-	-	-	-	1	1	1	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	2	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.07	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	0.04
RSウイルス感染症		0.24	0.02	-	0.14	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.55	-	0.05	0.24	0.10	0.05	0.02	0.05	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.31	-	-	0.10	0.07	0.14	0.07	0.12	0.19	0.07	0.12	0.07	0.19	0.02	0.14	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		4.71	0.10	0.43	0.98	0.36	0.36	0.45	0.40	0.24	0.19	0.07	0.10	0.31	0.19	0.55	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.24	0.02	-	-	-	0.05	0.05	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	4.86	0.10	0.76	1.50	1.02	0.52	0.33	0.36	0.05	0.10	-	-	0.02	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.02	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.62	-	0.29	0.29	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1.05	-	0.05	0.36	0.26	0.12	0.10	0.02	0.02	-	-	-	0.05	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.17	-	-	-	-	0.02	0.02	0.02	-	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.40	0.20	0.20	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除く。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

週, 疾病別報告数

集計対象: 平成29年30週

データ入手日: 平成29年8月2日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	-	1	1	1	7	5
RSウイルス感染症	3	4	2	10	8	10
咽頭結膜熱	30	17	25	21	12	23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	138	109	81	77	41	55
感染性胃腸炎	381	309	235	245	191	198
水痘	8	4	18	15	6	10
手足口病	169	188	271	280	267	204
伝染性紅斑	1	1	-	2	-	1
突発性発しん	21	24	29	16	20	26
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	22	18	32	50	35	44
流行性耳下腺炎	11	9	6	12	12	7
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	1
流行性角結膜炎	5	8	5	6	7	8
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	789	692	705	735	606	592

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	-	0.01	0.01	0.01	0.10	0.07
RSウイルス感染症	0.07	0.10	0.05	0.24	0.19	0.24
咽頭結膜熱	0.71	0.40	0.60	0.50	0.29	0.55
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.29	2.60	1.93	1.83	0.98	1.31
感染性胃腸炎	9.07	7.36	5.60	5.83	4.55	4.71
水痘	0.19	0.10	0.43	0.36	0.14	0.24
手足口病	4.02	4.48	6.45	6.67	6.36	4.86
伝染性紅斑	0.02	0.02	-	0.05	-	0.02
突発性発しん	0.50	0.57	0.69	0.38	0.48	0.62
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.52	0.43	0.76	1.19	0.83	1.05
流行性耳下腺炎	0.26	0.21	0.14	0.29	0.29	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	0.10
流行性角結膜炎	0.50	0.80	0.50	0.60	0.70	0.80
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	19.17	17.08	17.16	17.95	14.90	14.73

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除く。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。